

今年もあります！ファンタニマ！



ファニマ2号はアリクイとクマのハーフです！ 制作 青の羊

2014年4月30日(水)～5月6日(火)
9:00-21:00 (最終日は16:00まで)
丸の内・丸善本店ギャラリー(東京丸の内口 oazo4F)

日本人作家とロシア・ウクライナ・リトアニア・エストニア・ドイツなど総勢約82組の作家による動物作品が集まります(※2014年3月31日現在)
ジレンキナ、ジャルコヴァ、スマガ、クダシヨヴァなどロシアや近隣国で大人気のアーティスト作品を一度に見られるチャンスです！

主催 FANTANIMA!実行委員会
企画 羽関オフィス
協力 チーム・コヤーラ TEDDY FUN (ロシア) UDAA (ロシア) 青の羊
協賛 日本ユラシア協会 ユーラスツアーズ

website www.fantanima2014.nonc.jp

Twitter @ fantanima

Facebook www.facebook.com/Fantanima



出品作家 (3月31日現在)
亞鳥倉 / イフンケ (人形畑) / 奥つむみ / オクサナ / gaju / 加茂美智子 / 茅野カヤ / かわい金魚 / 菊地拓史 / Kimiko
クサボン / クムソルト / コリスミカ (KorisuFactory) / しるくるや / しるる / Takuto すがわら / deeper-bj
中村周子 / Noe / ビコビコトムアラツシ / 百武スタジオ百武朋 / Daisy-D / HIROKO / Bär / Reinett 真田瑠子
ぼけぼー / きよえさんのマスコット / 本多厚二 / Mile Paxton / まつのはるみ HARU factory / まな / maru
もりさこゆりえ / 山吉由利子 / ユニバーサル・プーヤン / studio yoyo / Rice Bear 米田理恵 / 松沢晋代
Zhirenkina Alena / Miletiskie Aleksandra & Xenia / Dyakonova Anna / Suliz Tatiana / Kudashova Alena
Smaga Lena / Suranova Natalia / Vlasova Vera / Krivenko Svetlana / Orlovskaya Anna / Zharkova Olga
Mart Olga / Yamkovskaya Marina / Kuptsova Anastasia / Irma Hahnfeld (Germany)
UDAA Lisina Elena 来日 ! / Starkova Irina / Beloshkurskaya Tatiana / Gostuhina Elena / Smirnova Nadezhda
Sidorova Marina / Andronova Elena / Makedonskaya Tatiana / Ermakova Anastasia & Vorobyeva Irina
Ketova Ekaterina / Domancevich Natalia
TEDDY FUN / Veltshinskaya Natalia / Andreeva Irina / Karo Eva (Ukraine) / Davydenko Anna (Estonia) 来日 !
Shinkovskaya Xenia (Lithuania) / Vetrova Svetlana (Estonia) / Yantselovskaya Ludmila (Estonia)
Kukuzel Elena / Lavrentieva Lubov / Tsupa Oxana (Ukraine) / Zabrotskaya Maria and Zabrotskaya Svetlana
Rassi Zhanna / Ose Alise (Latvia) / Nikitskiikh Andrei / Nalogina Lubov / Dostlieva Lia (Ukraine)
Kart Taya / Golovaneyevskaya Tatiana / **Bakanova Elena 来日** ! / Anatskaya Svetlana (Germany) / Bursuc Tatiana
※表記は姓・名順です。外国人で国名の記載のない作家はロシア人です。

会場でおこなうワークショップ！

エストニアからやってくる！

アンナ・ダビデンコのワークショップ

●てのひらサイズのかわいいベアのブローチ

●本邦初！きもカワイイ石のベア

受講料 4500 円 (材料費込・税抜・所要時間約3時間)

開催日

ブローチ 5/2 (金-A)、5/3 (土-B)、5/5 (月-B)

石ベア 5/4 (日-A)

※石は講師がバルト海の石を用意します！

同じ形のものはありません》



ダビデンコ
バルト海の石でつくるベア

●ロシアの伝統人形「ヴェブスカヤ」

講師 エレナ・リシナ (ウラル創作人形作家協会会長)

ロシアで伝統的に作られてきた女性のためのお守りの

布人形を作ってみよう。

ハサミも針も使わない、素朴なものです。

(できあがりサイズ 7～10cm)

受講料 1500 円 (材料費込・税抜・所要時間約40分)

開催日 5/6 (火) 13時と14時の2回



ロシアの伝統人形ヴェブスカヤ

●「クルクル・チクチク人形教室」

ボンと毛糸で縫わずに作る人形！

思い出の服の袖部分をリサイクル。

講師 クサボン

用意するもの 長袖古着1枚

受講料 3000 円 (材料費込・税抜・所要時間約4時間以内)

開催日 5/1 (木-A)、5/2 (金-C)

●「手縫いのクマのコサージュ」

小さなぬいぐるみクマのコサージュを

つくって頭に飾ります。

講師 かわい金魚

用意するもの ハサミ

受講料 3500 円 (材料費込・税抜)

開催日 5/3 (土-A)



クルクル・チクチク人形教室

会場 FANTANIMA!2014 会場内
丸善・丸の内本店 4F ギャラリー
東京都千代田区丸の内1-6-4 丸の内オアゾ内 TEL 03-5288-8881 (代表)

お申し込み方法

予約受付 羽関オフィス (TEL 042-395-7547 email hazeki@nonc.jp)

※メールや留守電でお受けした方は、返信をもって受付完了とさせていただきます。

受講料は当日、ワークショップ前に会場レジにてお支払い下さい。

キャンセルの場合はなるべく早くお知らせ下さい。

※予約状況により、スケジュールや内容が変更になる場合があります。

A=10時～13時

B=14時～17時

C=17時～20時



毎年3月にサント・ペテルブルグで開催されるTEDDY FUNの主催者オルガ・ラヒナ(写真左)が今年もFANTANIMA!会場に来日します！
「DOLL MASTER」誌の編集長であり、ART OF DOLLSも主催するオルガは、ユニバーサル・プーヤン(写真中央・右)のドールキットをロシアと近隣国で幅広く紹介する事業を始めました。モスクワ、キエフ各地で講習会が行われる予定です。ユニバーの「ロマンチック・ジャングル」シリーズの兎や猫のファッションドールのコンテストも将来的に計画しているそうです。

コヤーラ・クラブ入会条件

入会金なし 年会費：2000 円 (更新時に2年分一括払いの方は3900円となります。)
年4回(1・4・7・10月)のチーム・コヤーラのニュースレターとDM便が届きます。

お申し込み方法

年会費2000円を以下の方法でご送金ください。

〔郵便振替〕 通信欄に「コヤーラ入会」とお書きください。

送金先 「口座番号」00140-7-358370 「口座名」チーム・コヤーラ

※ご入金が確認できたらチーム・コヤーラよりハガキで受領証と会員証を兼ねたお知らせをお送りし、次の号から「コヤーラ通信」をお送りします。更新時には、有効期限内の最後の号を発行するときに、更新のお知らせを同封いたします。

DM同封希望の方(発行月から3ヶ月の間に展覧会を予定されている方)

事前に枚数などお問い合わせの上お申し込みください。同封DMは発行月の前月20日にチーム・コヤーラ必着でお送りください。

同封料金 コヤーラ・クラブ会員：2000 円 一般(非会員)：3000 円

紙上展応募の方

会員の方の人形の自作品の写真を受け付けております。

18号〆切 2014年6月1日(必着)

封筒に「紙上展」と明記の上、次の資料を事務局まで郵送でお送りください。

作品写真2～3点(全体・アップ・裸形) サイズ：ハガキ大。
「会員番号」「作家名」「タイトル」「サイズ」他、簡単なコメントなど。
※何点でも応募できますが、誌面の都合上掲載はお一人1点になります。
※応募作品はウェブ上で公開されることもあります。(講評は紙面のみ掲載)
※応募書類は返却いたしません。

個人情報について

頂いた個人情報はチーム・コヤーラの業務委託を受けるHAZEKI officeが厳重に管理します。
名簿はチーム・コヤーラのニュースレター発送に使用させていただく他、チーム・コヤーラの趣旨に沿ってDMクラブ会員にとって有意義と判断した情報を伝達する以外には一切使用せず、チーム・コヤーラ以外の第三者が閲覧、使用することは一切ありません。

各お申し込み・連絡先

チーム・コヤーラ
東京都東村山市久米川町3-27-57 HAZEKI office 内
TEL 042-395-7547 (担当 ハゼキ)
FAX 042-395-7975
URL <http://www.ab.auone-net.jp/~koyaala/>
Email team_koyaala@yahoo.co.jp

KOYAALA 通信 編集責任者 羽関チエコ (HAZEKI office)

©KOYAALA TSUSHIN 2010, printed in Japan 本紙記載の記事・写真の無断使用・転載を禁じます。



KOYAALA 通信 No.17

Apr.8, 2014



「KOYAALA 通信」は、チーム・コヤーラがコヤーラ・クラブ会員に発行するニュース・レターです。年4回発行 発行日(予定) 1月1日、4月1日、7月1日、10月1日

ドールの世界からこんにちは

ユニバーサル・プーヤン interview

文・羽関チエコ

人形と言えていても、日本ではその種類も関わる人の層も幅広いものです。

現代はフィギュア、ドールという言い方も加わって、大規模なイベントが増えその影響力は海外まで波及。ポップアートやコンテンポラリーアートのモチーフにもなっています。そのなかで「自分の人形をゼロから作る」創作人形について考えてみると、閉塞的な状況を認めざるを得ません。創作人形作家はそういうイベントに一度足を運ぶのもいい経験でしょう。「創作人形? なんですか、それ。球体関節のことですか?」とプロのフィギュア作家に聞き返されるくらいの現実が待っています。

昨年のロシアのART OF DOLLへの出展からチーム・コヤーラに加わって頂いたユニバーサル・プーヤンの村井芳典・福枝夫妻は玩具好きでドールの世界に入りました。しかし自分たちの好きなドールを素体(ボディパーツ)から作る点では、その世界でも少数派の存在です。既成の素体を使うカスタマイズ・ドール作家たちとの違いは、外部からはわかりにくいものです。玩具のように大量生産を前提に材料と工程を自らすべてコントロールし、オリジナルの作品までにつなげるのは、実は粘土で一点物の人形を作る過程よりは複雑な知識や技術を要するのですが、出来上がったドールからオリジナルかどうかの違いを言い当てることは難しいでしょう。

今号では、オリジナル・ドールを作る立ち位置に迷いを感じていたユニバーサル・プーヤンとチーム・コヤーラの出会いを、二人へのインタビューを通してご紹介します。またチーム・コヤーラで取り組んだ「AVANT☆GALZ展」のレポートをご紹介します。

》》》ファッションドール『桜奈』誕生まで

——お二人が最初に私(羽関)に話しかけて下さったときは、どんな状況だったんでしょうか?

「ドールショウ(註1)には招待企業として毎回出店しているんです。最初はバンダイの『桜奈』(註2)を持っていて、売れるファッションドールをやらなければという感じていました。元々は我々はホットトイズ(註3)が昔出していた『鉄人兄弟』のようなデザイン系ドールのほうが好きだった。でもバンダイと仕事をするにあたって、もともとこの人(福枝さん)もバービーやブライスとか好きだったから、ファッションドールをオリジナルでやろうということになったんです。アマチュアだったときも、タカラの『クールガール』(註4)の着せ替え衣装を作る人がほとんどいなかったので、それを作ってドールショウに出ていくくらいです。それは毎回お客さんがついて、開場とともにほぼ売り切れという状態でした」

——クールガール! 私も買いましたよ。

「それがあまりにも闘う系だったので、闘うアクションスーツを脱がせて、カジュアルな服を着せてメイクして、可愛くしたかったんです。しかし普通の服を着せるにはボディを細くしたい。しかし『モモコ』ほど細くしたくない、リカちゃんだと子供の服しか着られない。当時、ジェニーのボディを使っていたモモコのボディは棒みたいで細くて、自分たちはもうちょっと健康的なボディで、脱いでもセクシーなドールを作りたいと思っていました。そんなときにバンダイのアパレル部門に、ウルトラマンをモチーフにしたファミリー向けのアパレルブランドを立ち上げたい、同時に「プロモーションとして同じ服を6分の1サイズのオリジナルドールに着せて販売しよう」という提案をする機会があったんです。予算が潤沢にあったので、人形もやるなら素体から、金型からやりましょうということで、我々のデザインで『桜奈』ができました。素体で特許をとり、三菱自動車や他業種とのコラボ宣伝に使われたりしましたが、バンダイ側の理由でこのプロジェクトが中止になったんです。そうしたら『桜奈』をみていた中国の工場の社長から声がかかって、中国で『チハヤ』や『カミヨ』の素体を作りました。クールガールとバービーの中間くらいボディラインが『桜奈』だったんだけど、それでも着せ替えのドールファンにとってはボリュームがありすぎてグラマーだったので、もう少し細身にしたのが『チハヤ』や『カミヨ』の素体です。でも、モモコの服は着せられません。モモコのボディはギリギリまで細くして、洋服を着たときによく見える作り方をしている。うちは脱いだ状態できれいに見せたかったので、着せ替え人形としての汎用性が低かったということですね。それで、うちはもっとコンセプトualなものを作りたい、でも我々はどこに行ったらいいんだろうと言っているときに、羽関さんとお会いしたんです」

註1 1998年から開催されているプロ・アマ混合の着せ替え・玩具・ホビードールのイベント。5月5日に東京都立貿易産業センター浜松町館で第40回が開催される。 <http://www.dollshow.net>
註2 桜奈 バンダイがアパレル部門所属ドールモデルとして2007年に発売した29cmのファッションドール。
註3 香港の玩具メーカー。「鉄人兄弟」は肉体労働者のようなワーカースのシリーズ。 <http://www.hottoys.jp>
註4 タカラが発売した12インチの女性の素体を使ったアクションフィギュアで、アニメや映画のキャラクターシリーズがあった。

——私はドールの世界は不案内なので、正直困ったなとは思いました(笑)。

「私たちも日本で創作人形の展覧会も見に行ったことはあるけど、自分たちが見たのは画一的なもののばかりですごく閉鎖的というか、外から見に来なくて良い、我々は近づいちゃ駄目みたいな雰囲気がありました。ファッションドールという『玩具でしょ!』と言われちゃいます。我々も一から作っているんだけど、金型になっている点で玩具やバービーと同じ、ということになってしまふ……。でも、羽関さんにお会いする前からネットでパジャ・セトロヴァなどを見て、ロシアのドール作家っていいなとは思ってました。そうしたらセトロヴァは『ドール・フォーラム・ジャパン』とか、ああいう個人的な本を作っている人が紹介していたんだと分かったんです。それまで人形の情報誌との付き合いはあったけど、どうしても広告を出すところや売れている人形がメインになっている。他にも個人レベルで頑張っているオリジナルドール作家さんとかもいるけどなかなか取り上げられない。まあ商業雑誌ですから仕方がないのかなとは思いますが。コヤーラ通信で四谷シモンさんのインタビューとか読んで「ああ、そうなんだよなあ」といろいろなことをすごく見つめ直す機会になったんです。そうしたら通信の最後に「相談していいよ」と書いてある。「じゃ、相談しよう!」ということになったんです。そこにすぎったんですよ(笑)。難破船に乗ってたどり着いたというのか」

——うちも難破船かも(笑)

「じゃ、私たちは役ですから(笑)。それでロシアの出品の提案をいただいて、最初は作品だけを預けようと思ったんですが、ロシアまで行くことになって、さらにはやったこともない講習会までやることになって『死なばもろとも』みたいに気持ちになって(笑)。でもロシアは行って良かったです。日本ではブランドじゃないとお金を出さないだろうけど、ロシアでは一般の人が自分の目



『桜奈』三菱自動車(アイ)とのコラボ作品。©BANDAI

でいいと思った美術品をちゃんと買うという考え方があるんだというのをみて、ロシアに仕事があればロシアに住みたいと思ったくらいです。それまではチーム・コヤーラの活動も全然知らなくて、創作人形もよくわからなかったというのに」

》》》ポボヴィ姉妹のすごさ

——でもお二人のような立ち位置は、ポボヴィ姉妹も同じなんですね。レジンキャストですが、自分たちで素体を作ってカスタマイズする。既製品のボディを使うのが圧倒的に多いファッション・ドールの世界では、そこまでやる人はごく少数派なんですよ。

「それと我々は、もともと自動車のプロダクツデザインをしていたので、関節の機構をメカニクにデザインするのをやりにくて、スムーズな関節を考えてます。ホットスタッフという関節を隠すコーティングも流行ってきてますね」

——でも関節が見えているからいいという人もいますよ。

「それは球体関節の人たち。ドールの世界はなるべく関節を見せない。関節が見えるのがいやだと言って、美少女フィギュアの好きな人は一瞬の動きをとらえた固定のものを買うんです」

——そうだったんですね！

「我々は球体関節やベルメールも好きですが、そういう人たちにとって、関節の分割線があると『生々しさがない』という。ロボットっぽく見えて、邪魔なんですね」

——面白いですね。関節が好きな人は、関節がないと生々しさがないように思う。

「だから球体関節の記号的なフェティッシュ感は、うちのメカニカルな素体の関節とは違うと思う。球体関節は、球体にちょっとスリットが入ってゴムが見えたりするのがいいんだと思う。あれが記号ですね。それがぐっとくるかこないかは大きな違いで。我々はその中間にいて、あっちもこっちも好き」

——ポボヴィ姉妹の人形はそのあたりがよく考えられてますね。

作品のコンセプトの奇抜さや細部への緻密なこだわりとテクニックが秀逸なのはもちろん、ゴムテンションの球体関節の記号や、良い所を生かしつつ、プロダクツとして関節が思ったとおりに動くようにデザインが練られている。ポボヴィのあの独特なポーズングも表現として、作品の一部だと思うんです。関節そのものの外見だけでもっとこだわっている人は、ポボヴィさんのように関節をつくらない。曲がらなくてもいいくらい、やりたい放題に作るじゃないですか」

——そういうのはセッティングがすごく大変です。それが意図的なのかと聞いかけたくりますね。

「ポボヴィさんのはそういうのがない。でもゴムテンションなので、一瞬のあいだに、ふっとテンションが脱力するところもある。それはもう絶対しょうがないことなんですが、そういうところをすごくハイレベルで実現している」

——絶賛ですね。

「レジンの素材もすごくいいし、絶賛です」

——AVANT ☆ GALZ 展は、お二人が相談を持ちかけられなければなかった企画です。その絶賛が「倍返し」で戻ってくるよう、ユニブーのこれからの活躍を願っております。

「こちらこそコヤーラの皆さん、よろしくお願いします」



AVANT ☆ GALZ 展より「ロマンチックジャングル」シリーズ作品 縮緬張りの花魁は SF 的なコスチューム



ポボヴィ姉妹 Popovy Sisters 'GENESIS' レジン 花カマキリをモチーフにした

松岡ミチヒロ 'Segway Custom' 石粉粘土と樹脂粘土 パーツ類もすべて作者の手作り。金属は使っていない

咲耶 'Primavera' 一点物のビスはわずか 19cm

AVANT ☆ GALZ 展の試み

3 月 19 日～ 25 日 丸善丸の内本店ギャラリー

加を得た。よねやまりゅうもスチームパンク風に、得意の FRP で銅のような質感のあるオブジェ作品を出品。これらの硬質な素材に対して、布を素材にする作家は、松沢香代を筆頭に、Donuts Machine、monyomonyo、NINGŌ-crazy dolls-、Archibras と、アニミズム、シャーマニズム、ユーモアの世界をそれぞれのセンスで引き立てている。青の羊の布の人形も可愛いが一筋縄ではない。さらに加藤龍勇のモダンなイラスト、菊地拓史の箱作品や河野滋子の作品の静謐な空間がある。

これだけの技術やセンスの使い手に対して、創作人形として誰にも文句を言わせない存在感を放つのは、厳しい。しかし MIKI・櫻や咲耶は新人ながら、ビスクドールでぶれずによく健闘したといえるだろう。西村 FELIZ の粘土人形「出土品 24 号」は頭蓋骨の裏にまで文様を描き込む。

またドールとしては、ユニバーサルプーヤンは樹脂の表面に縮緬を貼ったファッションドールを発表した。樹脂に布張りする意図がどう伝わるか。同様に素体から制作、カスタマイズするレジン素材のポボヴィ姉妹の作品は花カマキリのメタファーがテーマ。ドール、衣装、アートとどの観点からみてもしっかりしたロジックを感じる。そしてその魅力的で繊細な仕事に、日本人がかって人形創作にかけていた気迫のようなものが伝わってきた。ドールやフィギュアのイベントを歩いてみると、その増大化する規模に対して、関心の対象は「可愛い」「人気キャラクター」など簡潔に収束している印象がある。童心の解放区が巨大化しつつあるこの国で、厳しい職人技の向こうには何が見えてくるのだろう。（羽関チエコ AVANT ☆ GALZ 展企画）

※スチームパンク 広義には文化や芸術に使われる用語でもあるが、デザイン的には 19 世紀末 빅トリア 朝風のレトロでメカニカルな装飾の傾向をいう

海外展示レポート



写真左：くるはらきみの人形を抱く主催者、ツィガノフスカヤ。右：自作デザインのポスターでチーム・コヤーラの展示を担当したユーリ・ボドコバエブ。大好きな Noe の作品を抱いている。 作品は左からユニバーサル・プーヤン、長谷川裕子、ユニバーサル・プーヤンのぬいぐるみ、くるはらきみ、新家智子

Panna Doll'ya (ベラルーシ、ミンスク)

3 月 28 日ー 30 日 Minsk Palace of Art

ベラルーシ共和国で初めての本格的な人形・テディベア展となる「Panna Doll'ya (パナ・ドーリャ)」がミンスク・パレス・オブ・アートで開催されました。ベラルーシを中心に 150 の出品者による展示は同国にとって大規模なものとしてメディアにも紹介されました。チーム・コヤーラも招待され、モスクワのスタッフ、ユーリが日本人作家の展示を担当。長谷川裕子、新家智子、Noe、くるはらきみ、ユニバーサル・プーヤンの作品を展示し、来場者から大変注目を浴びたそうです。

初めて主催者としての大役を果たしたナディア・ツィガノフスカヤは昨年、FANTANIMA! のために来日、出品していました。チーム・コヤーラと連携し、日本でのベラルーシの作家の紹介にも力を入れていきたいそうです。（敬称略）

（これらの作品は、4 月にモスクワで開催される MOSCOW FAIR に巡回します。チーム・コヤーラでは、海外での展示に関心のある方のご相談に応じます。）

NEWS!! 審査員決定

チーム・コヤーラ主催 第 2 回創作人形公募展 作品受付中！

応募メ切 6 月 30 日（必着）

会場と審査員が決定しました。 応募方 四谷シモン/別荘ねやまりゅう/矢部藤子/羽関チエコ チーム・コヤーラ URL <http://www.ab.auone-net.jp/~koyaala/>

展示会期（第 1 次写真審査通過作品）
2014 年 9 月 2 日（火）～ 7 日（日）10 時～ 17 時 30 分（最終日 15 時迄）
搬入・飾り付け 9 月 1 日（月）12 時～ 15 時
審査 15 時～ 18 時 発表 同日 19 時より別会場にて
会場 NHK ふれあいホールギャラリー（東京・渋谷）

【応募～出品までの流れ】
（※ 3 月発表のものの一部変更があります。）

- 第 1 次写真審査
応募メ切 2014 年 6 月 30 日（必着）
チーム・コヤーラスタッフによる写真審査
- 第 1 次審査結果通知
7 月 11 日に、本人宛に封書で発送
（第 1 次審査通過した方へは、搬入の案内をお送りします。）
- 実物審査（搬入日）審査員とチーム・コヤーラスタッフによる審査
- 出品者懇親会（搬入日）
- 展示最終日：審査発表と授賞式

- 【賞】
- チーム・コヤーラ賞（1 名）賞金 1 万円と賞状
 - 審査員賞（4 名）各審査員の個人賞 賞金 5 千円と賞状
 - 奨励賞※（5 名）賞状 ※賞の名前を変更、賞金がありません。
 - コヤーラ・フェス賞（会場の一般投票により、最終日に発表）賞状

【審査員】
四谷シモン/よねやまりゅう/矢部藤子/羽関チエコ

【出品料】
会員 5000 円 一般 10000 円
一人一点のみ（組作品の場合は、人形体数 2 点まで）
1 次審査で落選した方には、振り込み手数料を除いた残額を返金いたします。
応募時にコヤーラクラブ同時入会も可能。ご希望の場合はその旨明記かメールでお知らせ頂ければ、一括でご送金できます。（年会費 2000 円、入会金なし）

【受賞発表】
1、2、3 は搬入日※に懇親会場で発表。
（※初日から搬入日に変更しました。）
懇親会は有料で任意出席です。会費は 5 千円以下を予定。
詳細は 1 次結果発表時にお知らせします。
4 は展示最終日に会場の投票を集計し、開場前に会場での授賞式で発表します。
また、結果はチーム・コヤーラのウェブサイトとコヤーラ通信にて発表します。

【会期中イベント】
公募作品の作品公開講座を予定しています。



第 1 回創作人形展公募展 チーム・コヤーラ大賞 尾花智子「母と子と空と地」